

文化観光局所管施設の指定管理者の選定について

1 概要

文化観光局所管施設のうち 21 施設について、今年度中に指定管理者の選定を行います。このうち、5 施設については非公募、16 施設については公募とします。なお、区民文化センターについては、各施設の所管区において指定候補者を選定します。

2 指定期間

瀬谷区民文化センターは、供用開始の日から令和9年3月31日まで
 横浜美術館は、令和5年4月1日から令和15年3月31日まで（10年間）
 上記2施設を除く19施設は、令和4年4月1日から令和9年3月31日まで（5年間）

3 非公募により選定を行う施設（5施設）

対象施設	非公募とする理由
横浜美術館 (西区)	<ul style="list-style-type: none"> ・開館当初からの運営で蓄積した美術館事業のノウハウや美術関係者とのネットワークが必要であること ・約1万3千点の収蔵美術作品の管理・保管には、その経験を有する学芸員などの専門人材の関与が不可欠であること
横浜みなとみらいホール (西区)	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な音楽ホールの運営には、音楽業界に幅広いネットワークを持つ、専門人材の関与が不可欠であること ・大規模改修期間中に開館準備業務を円滑に実施し、休館明けすぐに安定的な施設提供や事業を実施していく必要があること
横浜能楽堂 (西区)	<ul style="list-style-type: none"> ・能、狂言その他の古典芸能の専門施設として、演者団体等との協力体制を継続していく必要があること ・古典芸能分野における専門的ノウハウが不可欠で、運営の担い手が限られていること
横浜市芸能センター (横浜にぎわい座) (中区)	<ul style="list-style-type: none"> ・落語、漫才、大道芸など、「大衆芸能」の専門施設として、各演者団体等との協力体制を継続していく必要があること ・大衆芸能分野における専門的ノウハウが不可欠で、運営の担い手が限られていること
横浜市大佛次郎記念館 (中区)	<ul style="list-style-type: none"> ・著作権承継者である遺族との信頼関係を維持しつつ、施設運営を行う必要があること ・開館以来、40年以上にわたり行っている資料の調査・研究等の活動を、今後も継承する必要があること

いずれの施設も、上述の対応が可能なのは公益財団法人横浜市芸術文化振興財団のみであるため、同団体から提案を受け、選定手続きを進めます。

4 公募により選定を行う施設（16 施設）

横浜市民ギャラリー	(西区)	
横浜市民文化会館関内ホール	(中区)	
横浜大倉山記念館	(港北区)	
横浜市長浜ホール	(金沢区)	
横浜久良岐能舞台	(磯子区)	
横浜陶芸センター	(中区)	
横浜吉野町市民プラザ ※	(南区)	
横浜岩間市民プラザ ※	(保土ケ谷区)	※両施設を一括して公募
横浜人形の家	(中区)	
区民文化センター	(7 施設：鶴見区・神奈川区・港南区・旭区・栄区・泉区・瀬谷区)	

5 スケジュール

年月	内容	対象施設
令和 3 年 5 月	令和 3 年第 2 回市会定例会への 指定議案上程	瀬谷区民文化センター（新設）
令和 3 年 9 月頃	令和 3 年第 3 回市会定例会への 指定議案上程	横浜みなとみらいホール 横浜能楽堂 横浜にぎわい座 横浜市民文化会館関内ホール 横浜吉野町市民プラザ 横浜岩間市民プラザ 横浜市民ギャラリー 横浜久良岐能舞台 (計 8 施設)
令和 3 年 12 月頃	令和 3 年第 4 回市会定例会への 指定議案上程	横浜美術館 横浜大佛次郎記念館 横浜陶芸センター 横浜市長浜ホール 横浜大倉山記念館 横浜人形の家 区民文化センター（6 区） (計 12 施設)

6 新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響

横浜美術館、横浜みなとみらいホール、横浜能楽堂と新設の瀬谷区民文化センターを除く 17 施設は、現行の指定期間が令和 3 年 3 月 31 日までとなっていましたが、令和 2 年第 3 回市会定例会の議決を受けて令和 4 年 3 月 31 日まで 1 年間延長しています。

指定管理者選定対象施設の概要

公募／ 非公募	施設名	説明	区	開館	面積	施設
非公募 (5館)	横浜美術館	展覧会やワークショップ等を行う国内有数の美術館	西区	平成元年 (1989年)	敷地19,803㎡ 延床26,829㎡	展示室(7室)、市民のアトリエ、美術情報センター、収蔵庫他
	横浜みなとみらいホール	クラシック音楽を中心とした演奏会を行うコンサートホール	西区	平成10年 (1998年)	敷地2,165㎡ 延床19,803㎡	大ホール(2020席)、小ホール(440席)、リハーサル室、練習室他
	横浜能楽堂	140年以上の歴史がある能舞台で、能・狂言等古典芸能を上演	西区	平成8年 (1996年)	敷地24,727㎡ 延床5,695㎡	本舞台(486席)、第二舞台、研修室他
	横浜にぎわい座 (横浜市芸能センター)	落語、漫才、講談、浪曲など大衆芸能を中心に上演	中区	平成14年 (2002年)	敷地1,733㎡ 延床14,701㎡	芸能ホール(391席)、小ホール、練習室他
	大佛次郎記念館	横浜ゆかりの文豪・大佛次郎の旧蔵資料等を展示する文学館	中区	昭和53年 (1978年)	敷地1,384㎡ 延床1,166㎡	展示室、記念室、ギャラリー、サロン他
公募 (16館)	市民ギャラリー	市民の美術活動の発表の場となっているギャラリー	西区	昭和39年 (1964年)	敷地2,361㎡ 延床3,428㎡	展示室、アトリエ、収蔵庫他
	関内ホール (横浜市民文化会館)	コンサートや演劇公演、講演会等多目的に利用されているホール	中区	昭和61年 (1986年)	敷地2,208㎡ 延床10,097㎡	大ホール(1,038席)、小ホール(264席)、リハーサル室他
	大倉山記念館	市指定有形文化財を市民の文化活動の場として活用している施設	港北区	昭和59年 (1984年)	敷地4,073㎡ 延床1,872㎡	ホール(80席)、集会室(10室)、ギャラリー他
	長浜ホール	旧横浜検疫所の建物を市民の文化活動の場として活用している施設	金沢区	平成9年 (1997年)	敷地3,476㎡ 延床1,080㎡	ホール(104席)、多目的ルーム他
	久良岐能舞台	寄贈を受けた能舞台を、能楽を中心とした市民の文化活動の場として活用	磯子区	昭和62年 (1987年)	敷地4,581㎡ 延床341㎡	能舞台(52畳)、和室、茶室他
	陶芸センター	市民の陶芸活動の場として窯を備えた施設	中区	平成5年 (1993年)	敷地704㎡ 延床396㎡	成形室、窯場他
	吉野町市民プラザ	コンサートや展覧会等市民の多彩な文化活動に利用されている施設	南区	平成元年 (1989年)	敷地1,495㎡ 延床2,760㎡	ホール(200席)、スタジオ(3室)、ギャラリー他
	岩間市民プラザ	コンサートや展覧会等市民の多彩な文化活動に利用されている施設	保土ヶ谷区	平成3年 (1991年)	敷地1,315㎡ 延床2,120㎡	ホール(177席)、スタジオ(4室)、ギャラリー、レクチャーホール他
	横浜人形の家	人形の保管・展示等を通じて観光振興・市民文化振興に寄与する施設	中区	昭和61年 (1986年)	敷地3,164㎡ 延床4,442㎡	常設展示室、企画展示室、劇場、多目的室他
	区民文化センター (7館)	音楽や美術等区民の多様な文化活動と交流のための施設	鶴見区	平成23年 (2011年)	専有延床 4,963㎡	ホール(548席)、 ギャラリー、練習室他
			神奈川区	平成16年 (2004年)	専有延床 2,793㎡	ホール(300席)、 ギャラリー、練習室他
			港南区	平成9年 (1997年)	専有延床 2,834㎡	ホール(381席)、 ギャラリー、練習室他
			旭区	平成2年 (1990年)	専有延床 2,564㎡	ホール(300席)、 ギャラリー、練習室他
			栄区	平成10年 (1998年)	専有延床 2,977㎡	ホール(300席)、 ギャラリー、練習室他
			泉区	平成5年 (1993年)	専有延床 2,871㎡	ホール(386席)、 ギャラリー、練習室他
			瀬谷区	令和4年 (2022年)	専有延床 1,611㎡	音楽多目的室(148席)、 ギャラリー、練習室他